

高齢者ケア南地区センター・アスターズバイ認知症対応ホーム (Lokalcenter Astersvej)

アスターズセンターの紹介 (ビデオ)
Ms. カミラ・リンストロム
レポート: 加藤真理子

★アスターズバイ概要

アスターズバイは、ロスキレ市の8地区の一つで認知症専門のセンターです。一般用が48室あり、4つのセ

クッションに分かれ、各セクション12室あります。また、家族が旅行等のためのショートステイ用が2部屋あり、各部屋には、キッチン、リビング、ダイニングが完備されています。

★認知症に優しいセンター

4つのセクションを分けるドアには、絵が描かれており、その絵を見て立ち止まり、スタッフがフォローできる、安全、優しさ、そこで声を掛けられる安心感があります。各部屋には、ベッド以外自宅で使っていた家具、写真、思い出の物などを飾り、広い窓からは中庭が見え、自宅に近い環境をつくり、リビングでは、やりたいことを自由に楽しまれており、「自分らしく」生活できる温かい支援があります。恵まれた環境、ゆったりとした時間、出来ない所を支援することを意識し介護するスタッフの中で、明るく元気で素敵な笑顔が見られました。日本の施設では考えられない光景が多く、豊かな人生を送られていることを実感することができました。

★マーサメオ

オランダで幼児教育として開発されたものを、認知症対策として応

用されました。方法として、認知症の方と、スタッフのやりとりをビデオに撮影し、分析する事でどのような残存能力があるのか、どこが良いのかに注目し、認知症に対するスタッフの対応を変える事で、穏やかに過ごせるようにしていきます。

★感想

入居者の方が生き生きとされており、穏やかに生活されていることが見てわかりました。スタッフの方も余裕があり、時間に追われている日本の職場にはない光景でした。日本人は、育った環境からお風呂をととても楽しみにされています。お湯につかる習慣があるため、日本の介護には、スタッフも時間も必要となります。その分、忙しくしてしまうのは仕方のない事だと思います。国も違えば、環境も変わる。それでも笑顔は言葉をこえて心で通じ合えると思いました。



<笑顔満開のアスターズバイ>